



2025年10月発行
恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111〈内線 208〉
FAX 0573-25-7129
MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

在宅型家庭教育学級 web フォームの活用で負担軽減

瑞浪市立瑞浪小学校育友会

「メディアコントロール推進週間」の取組

日 時 令和7年6月16日(月)～20日(金)
参加者 全児童とその保護者 児童数 756名



「児童・保護者、担当委員の負担を軽減し、実りある取組を実現!」

瑞浪小学校では、以前から瑞浪中学校の定期テストに合わせて「ノーメディアデー」を幼保・小・中で取り組んでいました。現在は、「メディアコントロール推進週間」として、在宅型家庭教育学級の取組を継続しています。今回は、6月に行った取組の様子を紹介します。

案内

「メディアコントロール推進週間」
【瑞浪小育友会スローガン】『楽しんで 親も成長 育友会』

期 間：令和7年6月16日(月)

ぼく・わたしの取組のめあて

今よりもっと
よくしたいことを
話し合います

週間の間に充実させたいこと(今よりもっとよくしたいこと)はどんなことですか

- ☐ 学習 ☐ 運動 ☐ 読書 ☐ 家族との会話 ☐ 早寝 ☐ 早起き
☐ 自分の好きなこと、したいことの時間を増やす
☐ メディアを使う時間を短くしたい
☐ その他【 】

報告

「メディアコントロール推進週間」
【瑞浪小育友会スローガン】『楽しんで 親も成長 育友会』

充実させたいことベスト5 比べてみました

順位	低学年	高学年
1位	読書	読書
2位	家族との時間	メディアを減らす
3位	運動	好きなこと
4位	規則正しい生活	家族との時間
5位	好きなこと	運動

図書委員会主催の親子読書も同時に開催していたこともあり、読書に取り組んだ児童が大変多かったです。次いで、低学年は家族と過ごす時間、高学年は好きなことやメディア使用時間の調整が多数でした。大きくなると、家族との時間も大事にしつつ、自分の時間も大事にしたいと考えていることが分かります。

【活動内容のポイント】

- 第1回は、取組表を紙とデータ(Google フォーム)の両方で配付しました。
- フォームについては、瑞浪市の ICT 支援員の協力を得て作成しました。
- データは、自動集計なので、紙提出の方だけ、家庭教育委員長と担当教頭とで集計作業を行いました。(30 分ほど)
- 家庭教育委員長がデータをまとめ、育友会長、家庭教育委員長名で各家庭にメールで配信しました。 [瑞浪小 HP へ](#)
- 瑞浪小学校の HP に掲載し、広く周知しました。
- 紙よりもデータのほうが、保護者も実施しやすく集計もスムーズなことから第2回(11月)は、データのための実施に切り替えます。

<感想の紹介 児童・保護者>

- テレビを消してスマホも見ないで勉強に集中して取り組んだので、割り算が分かるようになった。
- 家族と一緒に時間がたくさんもてうれしかった。
- 目が疲れなくなった。(よかった)
- 意識することの大切さがよく分かった。この情報あふれる時代に動画等メディアを全く断つことは難しい。だからこそ、まだまだ親がでて、管理することも大事だと思った。

<育友会家庭教育委員より>

気付いたら大事な時間が過ぎていく生活ではなく、「便利ツール」として、メディアを自分がコントロールするクールな活用の仕方ができるようになりたいですね。この取組が、自分と家族の生活をより豊かにする機会となったと嬉しく思っています。第2回もよろしくお願いします。



☆瑞浪小学校のこの取組は、ICT(情報通信技術)を活用しています。取り組む児童・保護者、集計分析報告する担当者の負担が軽減されています。在宅取組の参考になるのではないのでしょうか。☎



土岐市こども家庭課 親子関係醸成支援事業 親子 SMILE UP プログラム 1 (ONE)

日 時 令和 7 年 7 月 23 日 (水) 10:00 ~
担 当 NPO 法人 Mama's Café のみなさん
参加者 2 か月 ~ 10 か月の乳児とそのお母さん 13 組

全 4 回の概要

- 1 新しい出会いと学び合い
- 2 子どもの成長にあったおうち遊びと気をつけること
- 3 私の過ごす一日 ~ 気づきと工夫 ~
- 4 完璧な親はいない ~ 子育ては一人で出来るものではない ~

「とても楽しい時間でした。これからもよろしくお願いします!」



会場は和室: 畳の上で乳児がくつろげます



土岐市こども家庭課では、乳幼児とそのお母さんを対象に親子関係醸成支援事業として「親子スマイルアッププログラム」を実施しています。この事業を委託されているのが、NPO 法人ママズカフェのみなさんです。

今回は、7 月に計 4 回にわたって実施された「親子スマイルアッププログラム 1」の第 4 回の様子を紹介しします。

前半は、「リフレッシュの工夫」について交流しました。子どもが小さいと外に出るのも一苦勞、家にずっといて息が詰まるような気分になることもあります。お互いのリフレッシュ方法を交流することで、共感の輪が広がりました。後半は、情報提供、修了証授与、ふりかえりの時間でした。こども家庭課の加藤さんから「スマイルアップ 2」等について紹介がありました。また、ママズカフェ理事長の山本さんから、「地域資源の活用のすすめ」等のお話がありました。そして、子ども家庭課鈴木さんから修了証が手渡された後、このプログラムを終えられた感想を全員で交流しました。



修了証が渡されました

参加者が計 4 回のプログラムを通して、「子育て」の思いを交流できる関係となりました。感想の一部を紹介します。

- 子どもの月齢が一緒でないと話が合わないのではないかと思いますでしたが、共感できることが多くて良かったです。土岐市に永住するつもりなので、保・小・中でお会いすると思います。これからもよろしくお願いします!
- 4 回の参加は、私にはハードルが高いかなと思っていましたが、4 回とも来てよかったと思えました。外に出て赤ちゃんやゆったりできる環境はなかなかありません。リフレッシュできました。
- これで終わってしまうのがさみしい、後 8 回ぐらいはできます。(みなさん<笑>) 本やネットで子育ての正解、情報を探すことがよくあり、夫に聞いても最後は「ママが決めやー。」「えー。」ということもありましたが、ここに来て、同じ悩みをもっている人がいて、お話ができるのが救いになりました。毎週水曜日が楽しみでした。
- 「ときめく」に行っていたのですが、自分の子どもぐらいの人がいなかったの、今回応募しました。月齢が上のお母さんから子育ての話がきけてとても良かったです。

☆参加者の「子育て」について学びたいという思いとそれを支え、応えたいというみなさんの思いが温かい雰囲気、関係を生み出していました。「求めて学ぶ」すてきな空間でした。🌸

【イベントの工夫について: 乳幼児学級、家庭教育学級等の参考になると思います👏】

← 家庭の支援は、多くの方の連携から

4 回目のプログラムには、子ども家庭課から保育園の担当者が参加してみえ、これからの園選びの相談に乗れるようになっていました。また、保健センターの方の参加もあり、育ちの相談ができる配慮もありました。ママズカフェからもコーディネーターの方の参加があり、「こんなときはね・・・」と人と人をつなぐ役割を請け負ってみえました。

← しくみが整ってきたら、最後は「人」との信頼関係

ママズカフェ理事の奥村さんから「相談者と行政と NPO 法人の連携の重要性」のお話を伺いました。特に、ママさんの相談内容に合わせて、「そんなときは『子ども支援課の〇〇さん』のところにいくといいよ。」と名前をあげてアドバイスしている話が印象に残りました。しっかりと受け止めてくれる人がいるから、安心して薦めることができる、お互いの信頼関係も醸成されることがわかりました。

ご活用ください！ **岐阜県家庭教育動画教材**

「いよいよ小学生！」



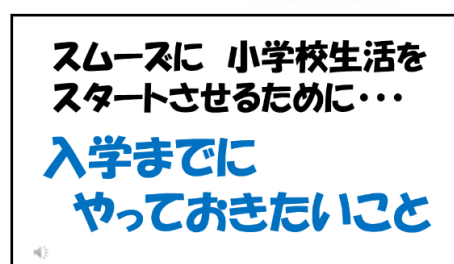
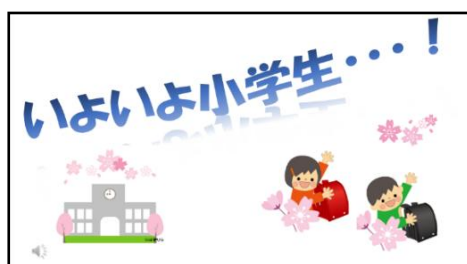
小学校では就学時健診や入学説明会の準備が始まりました。来春、小学校に入学されるお子さんがいらっしゃるご家庭では、入学準備が本格的になってくるのではないのでしょうか。

今回は、そんな保護者の皆様に県の家庭教育動画を紹介します。下のQRコードを読み込んでいただくと、動画(YouTube)が御覧いただけます。ぜひご活用ください！

「いよいよ小学生！」

<https://youtu.be/kKe3L1hXpbY>

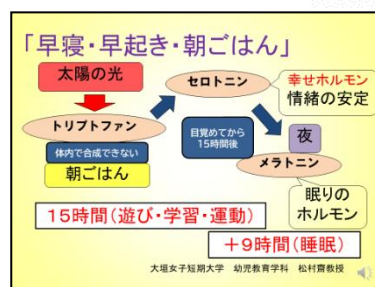
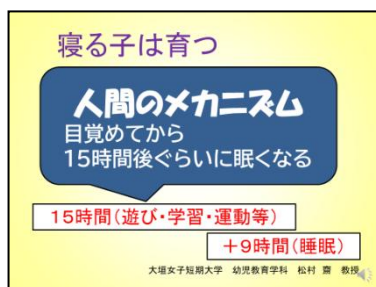
- ◇ 小学校入学までにやっておきたいことについての内容です。
- ◇ 2分4秒の短い動画です。



「生活リズム」

<https://youtu.be/UebmaB9Wzbk>

- ◇ 生活リズム(早寝早起き朝ごはん)が子どもの体や成長に大切であることを再確認することができます。(コロナ禍のころ作成)
- ◇ 7分14秒の動画です。



子どもが 元気に育つコツ

生活習慣を身につけよう！

岐阜県 県民生活課



親子で幸せな 気持ちになるコツ

うちでもやってみよう！

岐阜県 県民生活課